

【伝統行事「亥の子^{いこ}」が今年も執り行われました】

11月16日、地域の子供たちによる伝統行事「亥の子」が、土ヶ畑区で執り行われました。

毎年、旧暦の10月（11月）の亥の日に、今年に収穫した稲藁で作った棒を持って農家を回り、「亥の子のぼた餅 祝いましょう♪～」と唱えながら、藁棒で土をたたき「亥の子つき」をして豊作を祝い、豊穰をもたらした田の神に感謝するとともに、多産の猪（亥）にあやかって子孫繁栄を願う古くから伝わる郷土行事です。



「亥の子」行事は、西日本を中心に各地で実施された農耕儀礼で、千ヶ畑、広野の地区でも実施されていましたが、近年の少子化の影響を受けて、今は土ヶ畑のみで続けられている行事となっています。

「♪亥の子のぼた餅祝いませよ～

♪一つや二つで足りません～

♪お櫃にいっぱい祝いませよ～

♪蔵にも千石祝いませよ～♪」

と唱えながら各家を周り、家人からご祝儀をいただきました。

また、各家では、ぼた餅をこしらえ祝う習わしがあります。

